資料３４

令和６年１１月２１日
子ども家庭部保育課

委員会中後半における視点と論点（案）

※*斜体網掛け*は「課題の例」で挙げられているもの。**太字ゴシックは特に重要と思われる事項**

第５回

役割実現に向けた視点
現状把握、取組の方向性（必要性）

【役割１】地域の保育の質の維持・向上を促す
①ガイドラインの実践モデル（→共有還元）
②**地域毎の交流・学習・支援**（→幹事園・*園庭*）
③人材育成　（→***巡回支援・指導検査***）

【役割２】難度の高い保育を率先して担う
①**配慮を要する子どもの支援**（障がい児、医ケア児、発達障がい、アレルギー）
②要支援家庭・児童の支援（養育困難、虐待懸念）

【役割３】在宅子育て家庭を支援する
①***保育の専門性を活かした支援***（園庭等施設の開放、子育て相談、一時保育）
②支援ニーズの発見（こども家庭センター・児童相談所等との連携、子育て相談・一時保育等による直接支援）

【役割４】緊急時に地域の子どもと保育を守る
①災害時②災害後③非常時

第６回

役割実現に向けた論点
実施の程度、要件（必要資源）

役割１の論点
①合同研究・合同研修等の必要性
②**取組内容、幹事園の役割、エリア分け**
③**巡回支援・指導検査の実施に向けて**

役割２の論点
①現在の対応状況と課題、**拡充の方向、共有・還元の仕組み（*きらり*補完・複合施設化）**
②同上

役割３の論点
①**家庭支援の現状と拡充の方向（園・ひろば）**
②反映の仕組み（報告や提案）
③内容・想定の具体化

役割４の論点
①福祉避難所②臨時保育の内容③**非常時受入等**

第７回

在り方
（ＷＳ案）

役　割
求められる機能
エリア分け
施設複合化

課　題
必要人員
必要財源
その他要件

在り方
役割実現に
必要な体制

【５つの課題】行政から見た課題　①*園舎老朽化*②*保育定数の適正化*③予算と人材（特に*保育士*）④市負担⑤自治体経営